

茶病虫害防除情報

【第 7 号】

令和元年 6 月 3 日

鹿児島県経済連・肥料農薬課

更新茶園の病虫害防除対策

今年の梅雨入りが 5 月 31 日に発表されました。二番茶の生産も早場産地から最盛期になってきましたが、厳しい市況などで今年も茶園の更新が多くみられます。更新は樹高調整や樹勢回復、来年茶の品質向上を目的に実施されますが、更新後の茶園管理は極めて重要で、再生芽の健全な生育と充実を図ることが最も大切です。

更新園は一時的に病虫害の発生源が減少しますが、生育初期は加害する芽・葉が少ないことや、新芽の生育期間が長いことため再生芽にチャノトリヒメコバエ、チャノキアザミウマ、チャノホリガ、カンザワハダニ、炭疽病、輪斑病、新梢枯死症などが発生しやすく、再生芽の生育・充実を損なうこととなりますので、その防除対策について紹介します。

★ 発生する病虫害と防除対策

更新園は更新の時期、更新の程度(中切り 深・浅刈り)、樹勢、天候などにより再生芽の生育時期や状態が異なりますので、芽の生育状況に対応した防除を行います。また、再生芽を摘採・製茶する予定の場合は薬剤の使用時期に十分注意する必要があります。

チャノトリヒメコバエ チャノキアザミウマ

更新園で被害影響が最も大きいです。再生芽の萌芽・生育初期に集中加害し、芽の生育、樹勢回復を著しく阻害します。萌芽から生育初期に残効の長い薬剤などで防除します。

チャノホリガ

再生芽の開葉期に産卵、潜葉期幼虫などを確認し、薬剤防除します。

カンザワハダニ

更新園では、この数年秋芽生育期の 8 月頃に一時的に多発し、秋芽の被害がみられています。更新により一時的な天敵の減少や寄生する葉の減少などが原因のようで、注意が必要です。天敵に影響の少ない、全ステージに効く速効性の薬剤で防除します。

チャノゴナジラミ

多発生園では、第 2 世代若齢幼虫発生期(6 月下～7 月上旬)に防除し、密度低下を図ります。

炭疽病 新梢枯死症 黒葉腐病

更新後裾部などに残った伝染源病葉などから発生が増加していきます。再生芽の生育が梅雨期になりますので 1—3 葉期に予防剤などの薬剤で防除します。

輪斑病 (やぶきた園)

病原菌は枝や枯葉などにも残っており、再生芽の整枝時に感染しますので整枝直後に薬剤防除します。耐性菌などに配慮した薬剤選択は一般園と同様です。

☆ 更新園再生芽の病虫害薬剤防除法

病虫害	防除時期	防除薬剤	希釈倍数 (倍)	使用基準 使用時期・回数
チャノミト [®] リヒメヨコハイ チャノキイロアザ [®] ミウマ	再生芽萌芽 ー生育初期	スタークル顆粒水溶剤	2000	7 日前 2 回
		ウララ DF	1000～2000	7 日前 1 回
		ハチハチ乳剤	1000～1500	14 日前 1 回
		コルト顆粒水和剤	2000～3000	7 日前 2 回
		エクシレル SE	2000	7 日前 1 回
チャノホリガ [®]	再生芽 Iー2 葉期	スタークル顆粒水溶剤	2000	7 日前 2 回
		サムコルフロアブル 10	2000～4000	3 日前 1 回
		ノーモルト乳剤	2000～4000	7 日前 1 回
		カスケート [®] 乳剤	4000	7 日前 2 回
		ファルコンフロアブル	4000～8000	7 日前 2 回
		エクシレル SE	2000	7 日前 1 回
カンザ [®] ワハダ [®] ニ	7 月下ー8 月 秋芽生育期	ダ [®] ニサラハ [®] フロアブル	1000～2000	7 日前 2 回
		ダ [®] ニコング [®] フロアブル	2000～4000	7 日前 1 回
		マイトコーネフロアブル	1000	14 日前 1 回
		アグ [®] リメック	1000	7 日前 1 回
チャトゲ [®] コナジラミ	第 2 世代 若齡幼虫 発生期	アグ [®] リメック	1000	7 日前 1 回
		ディ [®] アナ SC	2500～5000	摘採前日 1 回
		ハチハチ乳剤	1000	14 日前 1 回
		コテツフロアブル	2000	7 日前 2 回
炭疽病 新梢枯死症 黒葉腐病	再生芽 1ー3 葉期	ダ [®] コニール 1000	700～1000	10 日前 1 回
		ベ [®] フト [®] ー水和剤	500	14 日前 2 回
		フロンサイト [®] SC	2000	14 日前 1 回
輪斑病	再生芽 整枝直後	カスミンボ [®] ルト [®] ー	1000	30 日前 1 回
		アミスター 20 フロアブル	2000	14 日前 3 回
		ファンタジスタ顆粒水和剤	3000	7 日前 1 回
		ダ [®] コニール 1000	700～1000	10 日前 1 回
		フロンサイト [®] SC	2000	14 日前 1 回

備考 ① 更新園の薬剤防除時期は一般園と異なるので、摘採を行う一般園へのドリフトがないように十分注意する。

② 秋芽生育期に使用予定の薬剤は更新園再生芽への使用は避ける。

③ 輪斑病防除剤のカスミンボルト[®]ー、アミスター 20、ファンタジスタは整枝 3 日後までの散布で、他の薬剤は直後散布で有効である